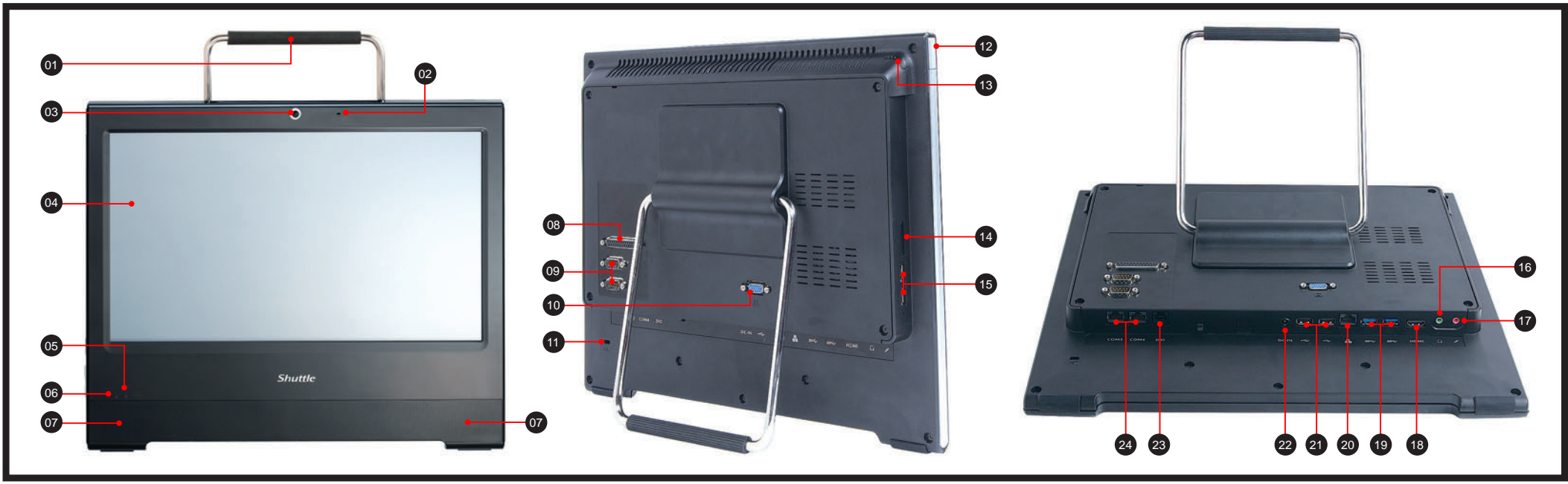




前面 / 背面 / 側面 各部説明



- 01 スタンド / ハンドル

02 マイク

03 ウェブカメラ

04 LCD ディスプレイ (シングルタッチ)

05 ハードディスクドライブ LED

06 電源 LED

07 ステレオスピーカー

08 プリンターポート (オプション)
- 09 COM1 及び COM2 ポート (オプション)

10 VGA ポート

11 Kensington® ロックポート

12 電源ボタン

13 スタイラスペン

14 SD カードリーダー

15 USB 2.0 ポート

16 イヤホン / オーディオ出力端子
- 17 マイク入力端子

18 HDMI ポート

19 USB 3.0 ポート

20 LAN ポート

21 USB 2.0 ポート

22 DCIN 接続部

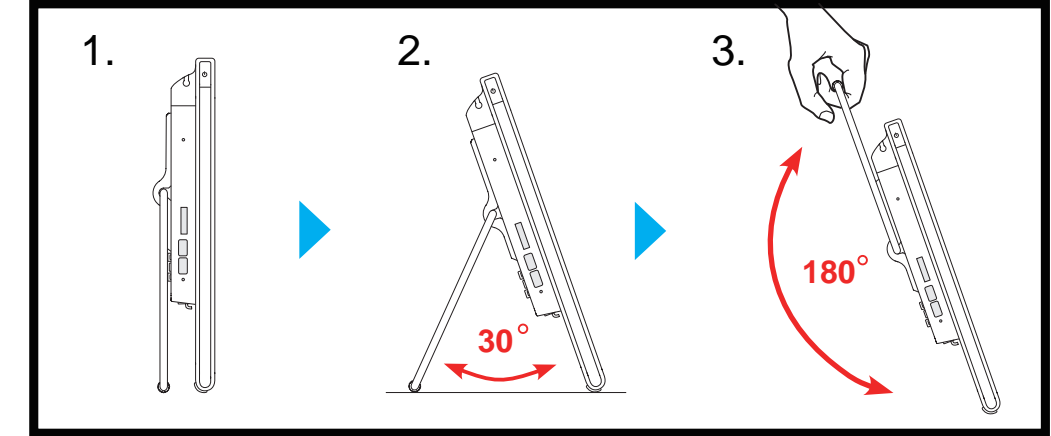
23 RJ11 DIO ポート(オプション)

24 RJ45上のCOM3、COM4 (オプション)

X50V6 本体の置き方と運び方

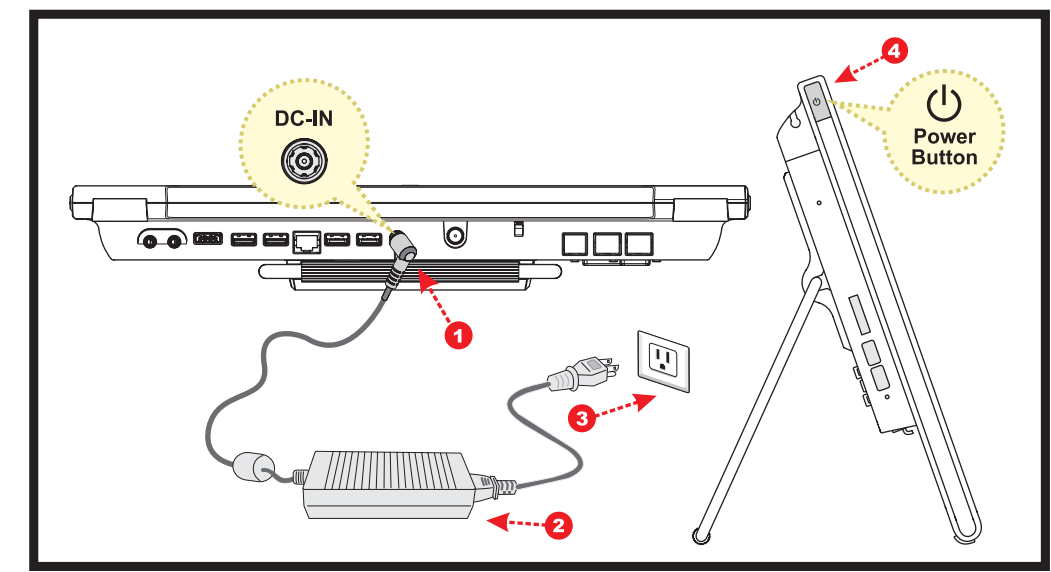
■ X50V6 の置き方、及び運び方は以下の手順を参照ください:

X50V6 本体を、テーブルのような平面の場所に置き、本体を片手で支えながら、図1のように X50V6 を立ててください。スタンド/ハンドルを取り出し、図2の状態になるように本体を立ててください。すると、使用しやすい快適な角度に調整することができます (図2を参照)。X50V6 を運ぶ、または、移動させる際には、図3のようにスタンド/ハンドルを本体上部までもっていき、スタンド/ハンドルが安定した状態を確認し、持ち上げて運んでください。



電源の入れ方

■ 以下の図にある電源接続のステップ1～3に従いACアダプターとをDCINジャックに接続してください。確認後、④のPower Switchを押してください。



スクリーン のクリーニング方法

■ 以下の手順で、コンピュータ画面をクリーニングしてください:

本体の電源を切り、本体に接続しているすべてのケーブルをはずしてください。

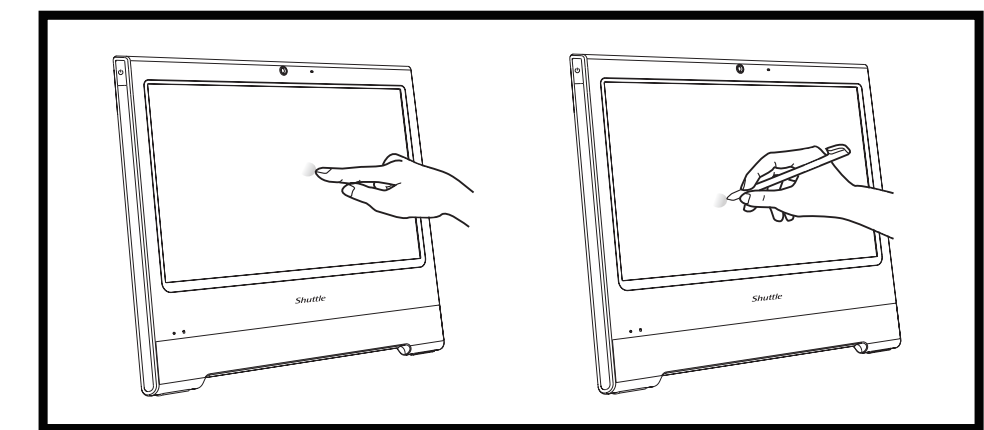
湿気を含み、汚れのない、やわらかく、糸くずの出ない布を使って、やさしく本体画面の表面をふき取ってください。

注: 製品の色及びスペックは、実際と異なる場合がございます。

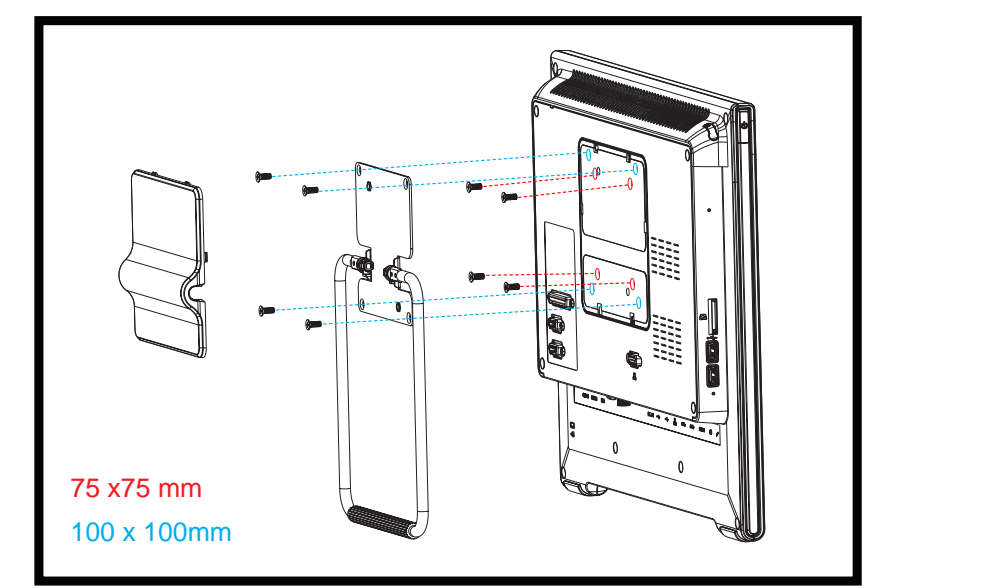
タッチパネルの使い方

■ X50V6 は、簡単なタッチパネル機能を搭載しており、デジタルライフを味わうことができます。数回、画面をタッチする、または、スタイラスペンを使用することで、デジタルライフが身近なものになります。X50V6 は、画面にタッチすることで、マウスの役割もする楽しい機能も備えています。

- ・ タッチ = マウスの左クリック
- ・ タッチして止まる = マウスの右クリック



VESA をウォールに取り付ける場合



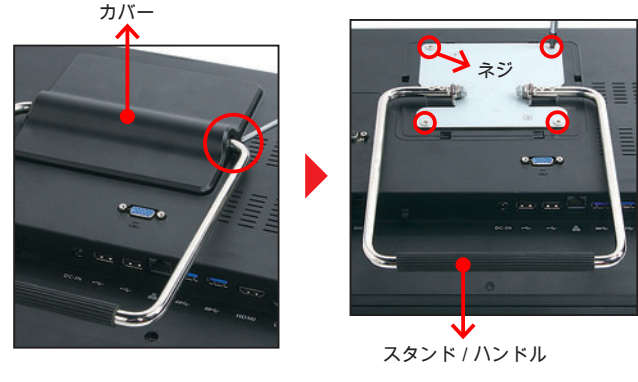
■ X50V6 をウォールに取り付ける場合、X50V6背面についているカバーを取り外します。スタンドを固定している4つのネジを取り外して、スタンドを外します。通常のVESA規格であれば簡単にウォールへ取り付けすることができます。取り付ける前にウォールやアームの取り付けキットの説明書をご参照ください。

注: X50V6 は、VESA互換 75 x 75 mm または 100 x 100mm ウォール/アームブラケットを使用すると取り付けられます。

A. 組み立てを始める

▲ 安全上、ケースを開ける前に必ず電源ケーブルを抜いて下さい。

1. X50V6背面についているカバーを取り外します。スタンドを固定している4つのネジを取り外して、スタンドを外します。



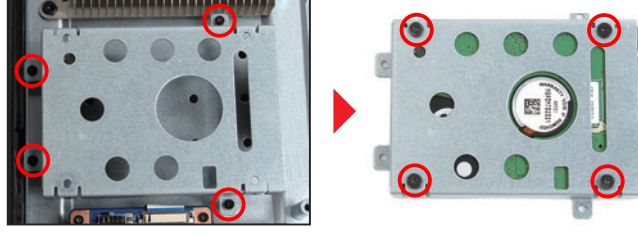
2. 背面にある4つのネジを外して、カバーをはずします。



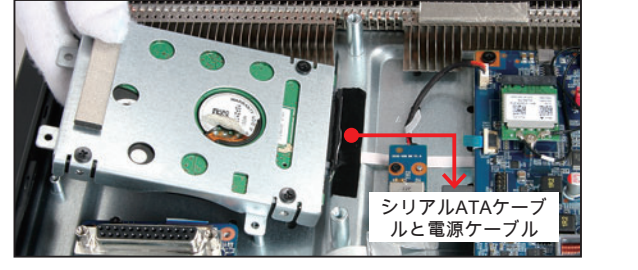
B. HDD/SSDの取り付け

1. 4つのネジを外して、ブラケットをはずします。

2. HDD/SSDをブラケットに取り付けネジを下図の通り締めます。



3. HDD/SSDにシリアルATAケーブルと電源ケーブルを接続します。

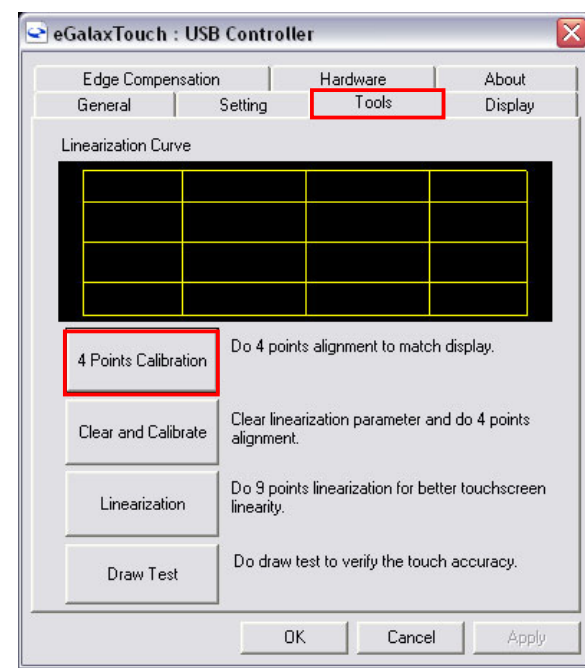


4 Points Calibrationについて (CD-ROM ドライブインストール)

■ X50V6 は、screen calibration program を使うと、スクリーンパネルで正しい 4 ポイント校正をすることができます。

スタートボタンをクリック、すべてのプログラム → eGalax Touch → Configure Utility の順で開いてください。

その中にある Tools タブを選択、4 Points Calibration をクリックします。

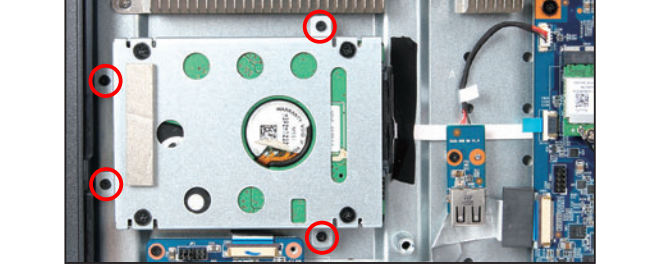


セーフティーインフォメーション

Shuttle X50V6 をセットアップする前に、以下の注意事項をよく読んでください。

- 注意
- 電源ケーブルを踏まないようにしてください。
- バッテリーの設置を誤ると、暴発の危険があります。
- 設置の際は、生産者の指示通り、同製品の使用を推奨します。

4. ジャーシにHDD/SSDとブラケットを取り付けて、4本のネジでHDD/SSDとブラケットを固定します。

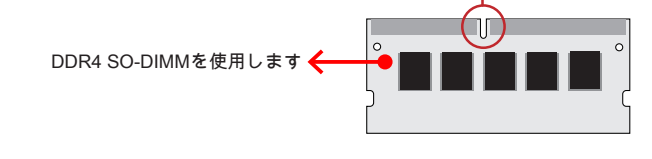


C. メモリーの取り付け

▲ このメインボードは1.2VのDDR4 メモリーモジュールのみ対応しています。

1. SO-DIMM にメモリーを取り付けます。

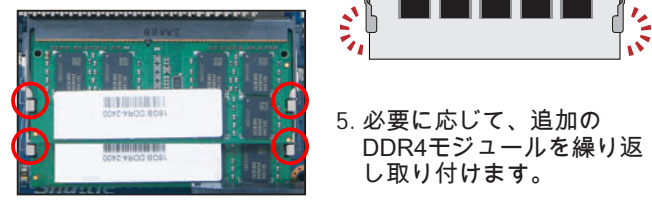
2. 下図の通り、切り欠けに合わせます。



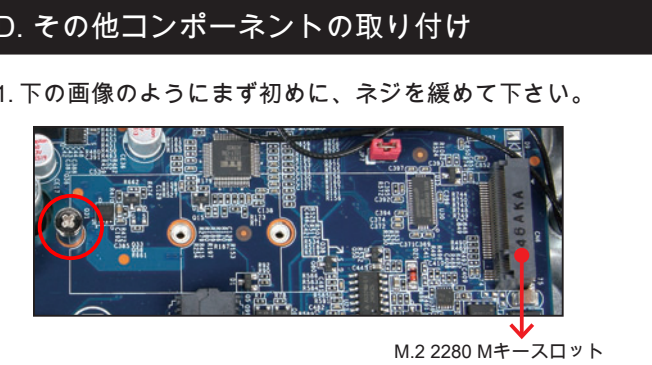
3. メモリーを45°の角度から押し入れます。



4. 押し入れた後に、メモリーを倒すように押し込むとロックがかかります。

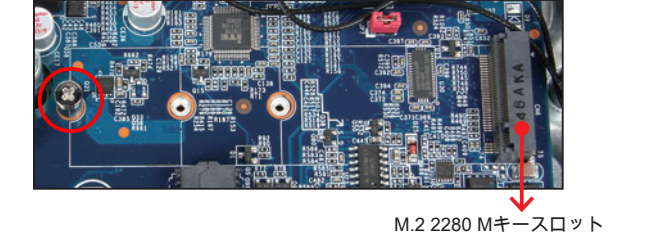


5. 必要に応じて、追加のDDR4モジュールを繰り返し取り付けます。

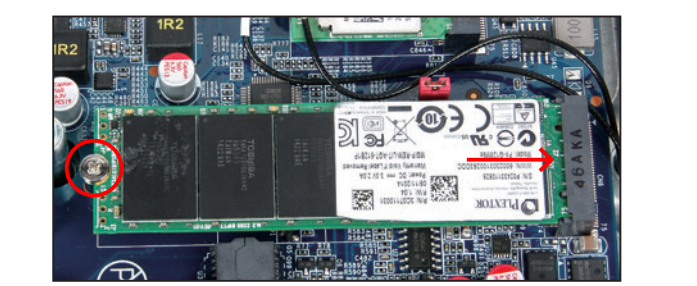


D. その他コンポーネントの取り付け

1. 下の画像のようにまず初めに、ネジを緩めて下さい。

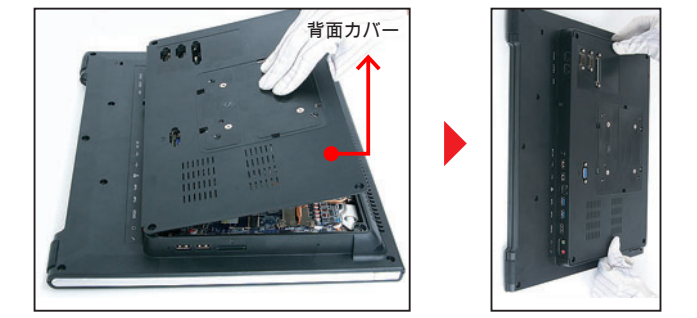


2. M.2 対応デバイスをMキースロットに差し込み、ネジでしっかりと締めして下さい。

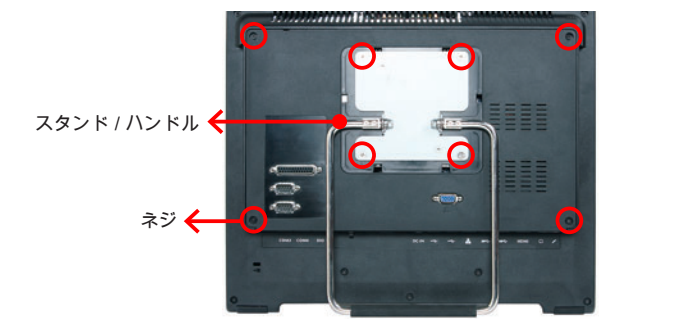


E. 完成

1. 背面カバーを取り付けます。



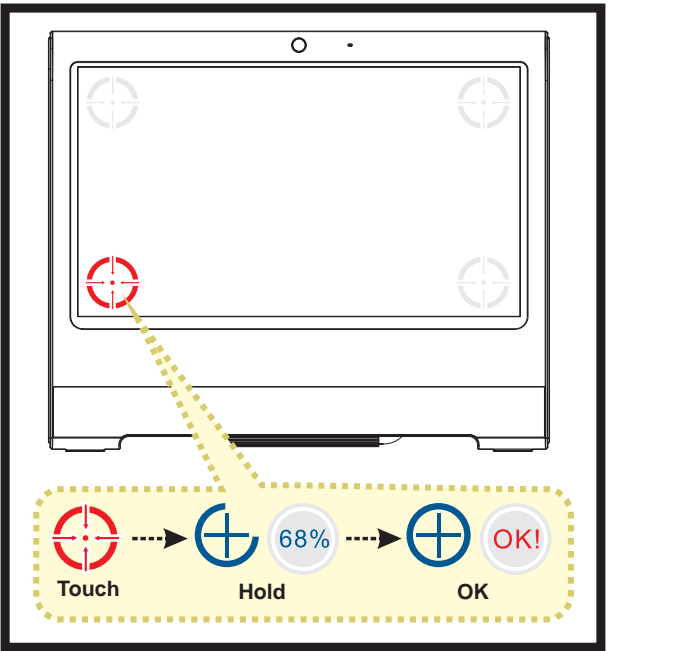
2. 8本のネジでスタンドと背面カバーを締め直します。



3. カバーを元に戻して完成です。



■ ターゲットの中心をタッチし、押さえてください。四隅繰り返してください。すると、画面が自動的に調整します。



■ 4 Points Calibration を完了後、画面上のOKボタンを押す。

